

I 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

事業の概要

令和3年度事業は、緑を増やし質の向上を図るとともに、今ある緑を守り育て、次代に引き継いでいくために、緑の募金活動を積極的に推進するとともに、令和元年6月に本県で開催された「第70回全国植樹祭」の理念を継承し、緑化推進の意識が県全体に広く浸透していくよう、県民の参加と協力を得て幅広い緑化活動を展開した。

特に、緑の募金については「緑の募金で進めよう！SDGs」をスローガンに掲げ、各市町村、企業・団体等と連携して普及啓発活動を推進し、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献を果たした。

また、緑豊かで快適な愛知づくりを推進することを基本に、「多様な緑に育まれる豊かなあいちを築こう」、「緑とふれあう心豊かな子供たちを育てよう」及び「豊かな森林の造成を図ろう」を推進目標として、事業計画に基づいて次のとおり実施した。

1 森林整備・緑化推進事業（公1）

(1) 多様な緑に育まれる豊かなあいちを築こう

県民の緑化に対する理解を深め、県民総参加による県土緑化を目指し、次の事業を実施した。

ア 愛知県植樹祭及び関連事業

春の緑化強調期間の中心的行事として、県内各界代表者、地元関係者参加のもとに県及び一宮市との共催により式典及び記念植樹等を開催した。

- (ア) 期 日 令和3年5月29日（土）
- (イ) 場 所 （式典会場）いちい信金アリーナ （植樹会場）光明寺公園
- (ウ) 参加者 200名

令和4年5月28日に豊山町で開催する令和4年度愛知県植樹祭において、一般県民等に配布する苗木を、町内の3つの小学校が育成した。

- (ア) 樹 種 ムクゲ
- (イ) 育成本数 350本
- (ウ) 参加者 46名

イ 緑化木配布

家庭緑化の推進と緑化思想の高揚を図るため、緑化木の配布を行った。

- (ア) 時 期 春及び秋の緑化強調期間等
- (イ) 配布対象 一般県民（18市町、22か所）
- (ウ) 配布本数 3,955本

ウ 地域緑化促進事業

(ア) 地域緑化促進事業

市町村、地域住民団体等による緑化活動を推進するため、次の県民参加の緑化活動に対し、その経費の一部を助成した。

事業内容	実施件数	備考
植樹活動・育樹活動	5	森林の手入れ、樹木植栽等
緑化普及資材配布等普及啓発	2	緑化木配布、みどりの教室等
みどりの少年団等活動	3	樹木植栽、小学校花壇整備等
木工教室等体験学習	1	木工体験等
計	11	

(イ) 地域緑化促進事業(広域)

広域的な緑化の推進に関する活動に対し、その経費を助成した。

事業内容	実施件数	備考
全国植樹祭関連活動	1	第70回全国植樹祭の理念継承行事

エ みどりふれあい行事

緑化の普及啓発をはかるため、愛知県緑化センター、愛知県緑化木生産者団体協議会との共催により、みどりフェスティバルとして自然観察、植木・木製品即売、グリーンガイド等「みどりとふれあう」事業を実施した。

みどりフェスティバル春

- (ア) 期 日 令和3年5月3日～5月5日(3日間)
- (イ) 場 所 愛知県緑化センター
- (ウ) 参加者 66,500人

みどりフェスティバル秋

- (ア) 期 日 令和3年11月20日～11月21日(2日間)
- (イ) 場 所 愛知県緑化センター
- (ウ) 参加者 26,500人

オ 緑化功労者表彰

緑化運動の一層の発展を期するため、緑化の実践及びその運動等について特に功労のあった、柴田富子氏始め3名4団体を表彰した。

(2) 緑とふれあう心豊かな子供たちを育てよう

次代を担う児童・生徒が自然と親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育み、すこやかに育つことを目指して次の事業を行った。

ア 学校関係緑化コンクール

学校の環境緑化を促進し、教育環境の整備及び学校林の活用を図るとともに、児童生徒に緑化の重要性を認識させるため、県との共催により学校関係緑化コンクールを実施した。

- (ア) 募集期間 令和3年5月6日(木)～7月16日(金)
- (イ) 入賞 学校林等活動の部で、公益社団法人愛知県緑化推進委員会会長賞受賞の瀬戸市立陶原小学校始め2校、学校環境緑化の部で、愛知県知事賞受賞の豊田市立若林西小学校始め6校、計8校が入賞した。
- (ウ) 推薦 優秀校を、公益社団法人国土緑化推進機構の行う全日本学校関係緑化コンクールに推薦し、学校環境緑化の部で、若林西小学校が準特選の(公社)国土緑化推進機構会長賞を受賞した。
- (エ) その他 参加校に対しては、一層の奨励のため副賞を配付した。

区分	学校環境緑化の部	学校林等活動の部
参加校	6校	2校
入賞校	6校	2校

イ 緑化ポスター原画コンクール

小中学校等の児童生徒の緑化意識の高揚を図るため、緑化ポスター原画コンクールを実施した。

- (ア) 募集期間 令和3年5月20日(木)～9月10日(金)
- (イ) 入賞 小学生の部では、愛知県知事賞受賞で春日井市立柏原小学校の雨宮颯汰(あめみや そうた)さん始め18点、中学生の部では、愛知県知事賞受賞で刈谷市立朝日中学校の樽林佳穂(くればやし かほ)さん始め10点、計28点が入賞した。
- (ウ) 推薦 優秀作品の内10点を、公益社団法人国土緑化推進機構の行う令和4年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールに推薦し、中学校の部で、樽林佳穂さんが準特選の林野庁長官賞、安城市立篠目中学校の野々山結(ののやま ゆい)さんが入選の国土緑化推進機構理事長賞を、それぞれ受賞した。

区分	小学生の部	中学生の部
応募数	2,350点	1,467点
入賞数	18点	10点

ウ 国土緑化運動・育樹運動標語の推薦

公益社団法人国土緑化推進機構の行う国土緑化運動・育樹運動標語の募集に2,315作品(学校141校、個人1人)の応募があり、10作品を推薦した。

エ みどりの少年団活動

自らが自然の中で活動することによって、緑を愛する心を持つ健全な少年少女を育てるため、関係機関の協力を得て次の活動を行った。

(ア) 育 成

みどりの少年団の自主的な学習活動、奉仕活動、野外活動等を助長するため、その活動費に対して助成した。

- a 対象少年団 県内の76団（助成74団）
- b 助成内容 活動費に対して、定額〔1団当たり3万円〕助成

(イ) 行 事

以下の行事への参加を支援し、組織の充実と資質の向上を図った。

- a 愛知県みどりの少年団交歓会（活動発表）
3団が参加し、書類審査の結果、名古屋市宮の森みどりの少年団が特選となった。
- b 東海地区みどりの少年団サマージャンボリー
新型コロナウイルスの影響により中止。
- c 全国緑の少年団表彰
岡崎市額田みどりの少年団が、みどりの奨励賞を受賞した。
- d みどりの学習教室
みどりの少年団を対象に自然観察などを実施し、緑を学び交流した。
 - ・期 日 令和3年7月27日（火）～7月30日（金） 4日間
 - ・場 所 愛知県緑化センター
 - ・参加者 県内みどりの少年団 26団 146名

(3) 豊かな森林の造成を図ろう

木材生産、県土の保全、水源の涵養、大気の浄化、保健休養等多くの機能と効用を持つ森林を育成するため、次の事業を実施した。

ア どんぐり山造成事業

公益財団法人三菱 UFJ 環境財団からどんぐり苗木（コナラ等250本）の寄贈を受け、みどりの少年団、ボーイスカウト、ガールスカウトの交流によって、どんぐり山を造成した。

- (ア) 期 日 令和3年11月7日（日）
- (イ) 場 所 日本ボーイスカウト愛知連盟 新城吉川野営場
- (ウ) 参加者 123人（みどりの少年団 61人、ボーイスカウト 45人、ガールスカウト 7人、その他関係者 10人）

イ 県民参加の緑づくり活動推進事業

(7) 県民参加型の森づくり活動推進

県民が参加する植樹や育樹等の緑化行事や普及啓発活動。

- a 実施団体 公益財団法人豊橋みどりの協会
- b 実施内容 記念植樹（誕生、結婚等）

(i) 未来へつなぐ森づくり

児童等が参加する植樹や育林等の緑化行事や普及啓発活動。

- a 実施団体 岡崎市立梅園小学校
- b 実施内容 開校 150 周年記念事業として校内樹木の整備、植樹等を実施

ウ 森林ファンド事業等

公益社団法人国土緑化推進機構が造成管理する「緑と水の森林ファンド」の運用益の交付等を受けて、次の事業を実施した。

(7) ふるさと樹木診断事業（調査研究事業）

古くから地域の人達に愛され親しまれてきた巨樹、名木等のうち、都市化の進展や環境変化等により、樹勢の衰えているものについて樹勢診断を実施し、保護・保存に役立てた。

- a 診断樹木 42本
- b 診断委託先 一般社団法人 日本樹木医会愛知県支部

(i) みどりに親しむ集い（普及啓発事業）

地域住民や都市と山村の交流を通して、身近な緑化や森林管理、木工工作等を体験することにより、森林や緑の大切さの理解を深め、緑化思想の高揚を図るため、里山ルネッサンス始め2団体が実施した「みどりに親しむ集い」に助成した。

(7) 森林ボランティア養成事業（活動基盤整備事業）

森林整備の担い手の育成や、森林・樹木の保全等による、人と森林・木とのふれあい等を推進するため、豊田市始め2団体に助成した。

(エ) 森林・山村多面的機能発揮対策

森林・山村多面的機能発揮対策愛知県協議会から委託を受け、活動組織に対する指導等を実施した。

エ その他

緑化の普及啓発等に関連のある次の行事等に協賛・支援した。

(7) 学校環境緑化モデル事業などの実施及び指導

(i) 愛知県緑化樹木共進会等、緑化・林業関係団体の実施した諸行事

2 緑の募金事業（公2）

(1) 緑の募金

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき募金を実施し、拠出された募金を公共施設の緑化、森林の整備事業等に活用した。

- ア 募金額 83,017,085 円
イ 募金期間 (春期) 令和3年4月1日～5月31日
(秋期) 令和3年9月1日～10月31日
※ただし、令和3年については通年の実施とした。
ウ 募金方法 家庭・街頭・職場・企業・学校募金等
エ 募金の使途 公共施設の緑化や森林の整備等に関する事業費に充てた。

(2) 緑の募金推進キャンペーン

5月4日（みどりの日）に愛知県緑化センターで実施し、緑化の普及啓発と緑の募金への協力を呼びかけた。

3 緑化強調期間

緑化運動の効果を一層高めるため、次のように強調期間を定めて、運動の強化を図った。

種別	期間	主な緑化行事等
春の緑化 強調期間	4月1日～5月31日 (みどりの日5月4日)	緑の募金推進キャンペーン、県植樹祭 緑化木配布会、学校関係緑化コンクール 緑化功労者等の表彰 等
秋の緑化 強調期間	9月1日～11月15日	県緑化樹木共進会、緑化木配布会、 どんぐり交流会 等

4 広報活動

緑化の重要性を広く県民に周知徹底するため、積極的な広報活動を実施した。

- (1) 報道機関による広報・普及活動の実施。
- (2) 企業・団体等機関誌への投稿。
- (3) ポスター、リーフレット、ホームページ等による普及宣伝の実施。
- (4) SDGs AICHI EXPO 2021に出展し、幅広く緑の募金事業をPRした。

- ア 期 日 令和3年10月22日（金）、23日（土）
イ 場 所 Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

5 会 議 等

年月日	名 称	場 所	内 容
令和3年 4月26日	監 査	愛知県 三の丸庁舎	令和2年度事業報告及び収支決算についての監事監査 ◎適正な処理について確認
令和3年 5月17日	第 1 回 理 事 会	愛知県庁 本庁舎正庁	【定時総会提出議案】 第1号議案 令和2年度収支決算について 第2号議案 役員の選任について 第3号議案 会費の使途見直しに伴う定款の変更及び会費規程の制定について 【理事会提出議案】 第4号議案 新会員の入会の承認について 第5号議案 定時総会の開催について ◎いずれも原案どおり可決

年月日	名 称	場 所	内 容
令和3年 6月4日	定時総会	K K R ホテ ル名古屋	第1号議案 令和2年度収支決算について 第2号議案 役員の選任について 第3号議案 会費の使途見直しに伴う定款の変更及び会費規程の制定について ◎いずれも原案どおり可決
令和3年 6月4日	第 2 回 理 事 会	K K R ホテ ル名古屋	第1号議案 理事長、副理事長及び専務理事の選定について 第2号議案 会費の使途見直しに伴う補正予算について ◎いずれも原案どおり可決
令和4年 2月4日	運営協議 会	書面決議	議題1 令和3年度緑の募金の実績額及び使途別充当額並びに交付金の交付先等について 議題2 令和4年度緑の募金の目標額及び緑の募金による寄附金の使途計画について ◎いずれも原案どおり可決
令和4年 2月14日	第 3 回 理 事 会	愛 知 県 議 会 議 事 堂	第1号議案 令和3年度第2回補正予算について 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算について 第3号議案 令和4年度定時総会の開催について ◎いずれも原案どおり可決

6 会員等の状況 (令和4年3月31日現在)

(1) 会 員	
ア 正 会 員	1 2 1 名
イ 賛 助 会 員	2 8 名
計	1 4 9 名
(2) 役 員	
ア 理 事	1 8 名
イ 監 事	2 名
計	2 0 名
(3) 会 長 等	
ア 会 長	1 名
イ 副 会 長	3 名
計	4 名
(4) 運 営 協 議 会 委 員	9 名
(5) 職 員	
ア 事 務 局 長	1 名
イ 事 務 職 員	1 名
計	2 名

Ⅱ 附 属 明 細 書

令和3年度の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書に記載する事項はない。